



## 今回の紙面

地域医療最前線 NO.37 《<sup>はたこうへい</sup>秦公平先生》 看護師さんのページ NO.17 《<sup>よしおか さちこ</sup>吉岡佐知子さん》  
 研修医のページ NO.21 《<sup>にわのとしゆき</sup>庭野稔之先生》 救急医療 臨床研修病院連絡会議  
 地域医療セミナー 高校生医療現場体験セミナー しまね地域医療の会  
 地域医療支援コーディネータ養成 NO.4



NO.37

### 松江赤十字病院

松江赤十字  
病院長 秦 公平

松江赤十字病院は島根県の県庁所在地である松江市で、宍道湖と中海をつなぐ大橋川の北側、いわゆる橋北地区にあります。日本全国で92病院ある赤十字病院の一つですが、島根県には二つあり、当院と益田赤十字病院です。当院はこの度、現地改築ではありませんが、地下1階、地上14階の病棟、検査部門、救命救急センターを含む、免震構造を備えた高層棟が完成し、3月1日開業いたしました。最近の在院日数短縮を考えて、病床数は730床から645床へ縮小しました。屋上にはヘリポートが設置され、13階の外來食堂からは宍道湖や嫁が島がよく見えます。病棟からも松江城や北山、東には遠く大山が臨め、大

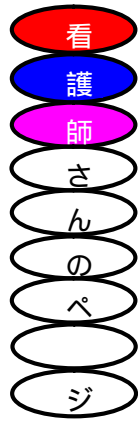


変見晴らしがよくなっています。

当院は松江市を中心とした人口約20万人の地域で、主に急性期医療を担っております。7対1看護体制、地域医療支援病院、がん診療拠点病院、災害拠点病院、救命救急センター等多くの認可を受けています。この地域の救急の約半数を受け持ち、年間約2万人の救急患者を診ており、うち救急車搬送約3000人、救急からの入院も3000人の実績があります。26科あり、医師数は110人を超していますが、一部医師が不足している科もあり、急性期医療を担うにはまだまだ足りないのが現状です。栄養サポート、褥瘡対策、感染対策を初め、チーム医療を重視し、患者さんや家族の方にもわかりやすいよう、消化器センター、呼吸器センター、脳卒中センター、周産期センター等センター化を進めています。最近進歩の著しい放射線診療機器ではCT2台、MRI2台、心臓カテテル検査室、血管造影検査室等あり、診療機能をさらに高めました。PET CTも県内で最初に導入し、がん診療に役立てています。地域の病院や診療所との連携も重視し、大腿骨頸部骨折や脳卒中など地域連携パスもいち早く導入しました。今後

はがんの連携パスを作成することになっていきます。

研修医の応募が少ないのが悩みの一つで、どうすれば来てくれるのか、みんなで頭を絞っているところです。研修にはとてもよい病院だと思っっているのですが、研修医の諸君、最初に救急をやるべきです。ここを経験しておけば怖いことはありませんよ。是非来て下さい。また、研修医に限らず、医師・看護師募集中です。ホームページでご確認下さい。



NO.17

### 県リソースナース会 活動開始!

会長 吉岡佐知子

(松江市立病院 老人看護専門看護師) 老いても住み慣れた地域でいつまでも健康でありたい、いかなる病を持っていても親しい人たちの中で暮らし続けたい、最期の時まで苦しまず穏やかに暮らしたい、これらは誰しもが抱く願いだではないでしょうか。健康と生活を護ることは看護師の大切な役割であり、私たちにとってこの務めを果たせることは専門職としての大きな願いでもあります。しかし現状は、この願

いを簡単に叶えられる状況ではありません。医師はもとより、看護師の少なさもすでに社会問題となっております。そして、厳しい環境の中、患者さんの症状やおかれた状況が生み出す様々な困難に、どのような対応をしてよいのか分からず途方に暮れている看護師たちは少なくありません。解決する術を見出せず、本意のままに看護を提供したり、諦めを重ねるだけのこともあろうでしょう。誰にとっても辛い状況だからこそ、同じ看護師として悩みを共感し、一緒に解決策を模索できる存在が必要ではないでしょうか。そこで発足したのが島根県リソースナース会です。

島根県リソースナース会とは、「リソース (resource) = 資源」と「ナース (nurse) = 看護師」を合わせ、「どうぞ私たちを資源として活用して下さい」との思いを込めて名付けました。まずは看護師のために、それがひいては島根県で看護を受ける患者さんやご家族へのよりよい看護へとつながっていき、住んでいる地域や看護を受ける施設に関わりなく、誰もが必要な看護を平等に受けられることを目指し活動をしていこうと考えています。メンバーは、志を同じくし、県下で活動する専門看護師と認定看護師(下図)です。

### 島根県リソースナース会

- 専門看護師：1名(1分野)**  
 老人看護CN: 1名  
**認定看護師：44名(15分野)**  
 救急看護CN: 2名  
 皮膚・排泄ケアCN: 7名  
 集中ケアCN: 4名  
 緩和ケアCN: 6名  
 がん化学療法看護CN: 4名  
 がん疼痛看護CN: 1名  
 感染管理CN: 5名  
 糖尿病看護CN: 3名  
 不妊症看護CN: 2名  
 新生児集中ケアCN: 2名  
 手術看護CN: 3名  
 訪問看護CN: 1名  
 乳がん看護CN: 2名  
 摂食・嚥下障害看護CN: 1名  
 認知症看護CN: 1名

それぞれに所属施設を持っていますが、本会ではその所属を越えて、看護の力の底上げのために各々が持つ専門的な知識や技術でみなさんのお役に立ちたいと願っています。ご連絡をお待ちしています。

お問い合わせ 本会事務局

i.shinari@med.shinane-u.ac.jp



### 出雲市民病院

公立雲南総合病院研修

1年目研修医 庭野 稔之

私は、島

根大学医学部を卒業後、家庭医の研修コースが



ある出雲市民病院を選択し、研修を始めました。しかし、出雲市民病院では外科等の研修が出来ない状況にあるため、昨年の11月より協力病院である公立雲南総合病院において研修をさせていただいています。雲南病院ではこれまで、外科、整形外科を中心に研修し、現在、救急の研修を行っています。研修では、地域医療を担う人材を育成することを目的に開設された、地域医療人育成センターのセンター長である大谷先生を始め、各先生方に大変熱心にご指導

いただいております。ありがとうございます。また、手術にも多く立ち会わせていただいておりますし、入院患者さんも受け持たせていただいておりますので、大変な面はありますが、やりがいがあり毎日が非常に充実しています。

その他、看護師さんや薬剤師さんなど医師以外のスタッフの皆さんから学ぶことも多くあります。特に、NST(栄養サポートチーム)、褥瘡回診などはチームワークが重要であり、回診に参加することで改めてチーム医療の大切さを実感しています。雲南病院も深刻な医師不足の状況で先生方は大変ですが、その分看護師さんを始めとするスタッフの皆さん

が協力して補っておられ、医師だけでは病院は成り立たないことも痛感しました。

これから雲南病院では9月までの6ヶ月間、救急、小児科、産婦人科等を中心に研修をさせていただく予定ですが、ご指導いただくと先生方やスタッフの皆さんにあまりご迷惑をかけることがないように、研修に励んで行きたいと思っています。

最後に、地域の医師不足が深刻化し、地域医療が崩壊しかねない状況の中、まさに今その現実を目の当たりにしています。この状況に対して、地域の医療を守ろうと先生方を中心に、病院のスタッフの皆さんは一生懸命がんばっておられます。私も少しでも早く一人前の医師となり、微力ではありますが地域医療の一翼を担っていけるようになりたいと思っています。

### 救急医療「ヘリコプター活用」

離島・中山間地を中心として、医師不足は深刻な状況にあり、県内どこでも適切な医療が受けられる体制を維持するためには、医療機関相互の連携をさらに進める必要があります。

ます。

患者を短時間で搬送する手段として、医療分野でのヘリコプター活用は有効であり、島根県では、以前より隠岐からの救急搬送を中心に、防災ヘリコプターを積極的に活用してきました。

現在、県西部地域における医師不足は、特に深刻な状況にあります。このため、県西部地域における救急患者を島根大学附属病院、県立中央病院等へ緊急搬送をする際に、受け入れ側の病院の医師が、島根県防災ヘリコプターにあらかじめ同乗して急患搬送を実施する取り組みを3月18日から開始しました。このような取り組みが、厳しい状況にある県西部の救急医療体制の確保の一助になればと考えます。



邑智病院 ヘリポート

つ、さらに、ドクターヘリの平成23年度早期の運行開始に向けて準備を行っているところです。

【医療政策課 今岡】

### 臨床研修病院連絡会議 臨床研修ガイダンス開催

島根大学を含む県内10の臨床研修病院の連絡会議と、医学生及び研修医を対象とした初期・後期の臨床研修ガイダンスが、2月11日に出雲市内で開催されました。

連絡会議では、医師の確保や定着のために、大学病院と地域の医療機関間の連携や魅力ある研修プログラム充実のため、活発な意見交換が行われました。県からの報告として、地域医療再生計画に基づき、奨学金貸与を受けた医師等を対象に、地域医療人育成支援を行うとともに、各医師の希望と地域医療ニーズとの調整を行う講座を島根大学医学部に新設することについて説明をしました。

また、ガイダンスでは、各医療機関から熱のこもったプレゼンテーションが行われました。

【医療政策課 藤井】

### 地域医療セミナー

医学生に地域医療に対する興味や関心を高め、理解を深めてもらうためのセミナーが1月22日に島根大学医学部で開催され、医学生や教職員等50名が参加しました。はじめに、ハワイ大学及びウイスコンシン大学の海外短期研修に参加した医学科5年生からの報告がありました。地域医療について、「患者から学びなさい」という助言を受けたことや、現地の学生のモチベーションの高さなど刺激を受けた点について発表がありました。

続いて、弥栄診療所長阿部顕治先生から、「地域医療の魅力」山間の診療所で13年働いて」と題した講演がありました。人を診る医師としてのやりがいに加え、予防活動、



在宅医療、健康な村づくり、人材育成など、「村に聴診器をあて村の処方箋を」という思いで実践されている、地域づくりを視野に入れた取り組みを学びました。

【医療政策課 藤井】

### 高校生医療現場体験セミナー

高校1・2年生を対象に、春休みを利用した医療現場体験セミナーを開催しました。今春は、3月25日に松江生協病院、26日に松江市立病院、30日に浜田医療センターの3か所を会場に、県下12校から57名の参加がありました。

医療現場の見学は初めての学生も、2〜3か所体験している学生もいましたが、熱心に説明をしてくれるスタッフに感銘を受け、医学の進歩に驚き、医師等医療従事者を志す魅力を再確認す



ギプス体験  
(松江生協病院)

るなど、将来の目標設定に参考となったようです。もっと頑張ろう!!という思いを新たにし、一人ひとりが充実した体験をしました。



心マッサージ体験  
(松江市立病院)



血圧測定体験  
(浜田医療線センター)

## しまね地域医療の会

【医療政策課 藤井】

2月20日(土)に、「平成21年度第2回しまね地域医療の会」を出雲医師会館と隠岐病院をTV会議で結び、54名の参加を得て開催しました。この会は、自治医科大学卒業医師や赤ひげバンクを通じて県内に着任された医師等が相互に情報交換をする場です。

今回は、日本獣医生命科学大学より池本卯典学長、自治医科大学より河野正樹准教授、公益社団法人地域医療振興協会より片山繁先生など6名の来賓にお越しいただき、地域医療に関する情報提供をしていただきました。

また、各地域の第一線で活躍する医師から、取組状況や今後の方向性等について報告がなされ、積極的な意見交換が行われました。その中で、地域の中小病院・診療所再生のためには総合医が必要であること、総合医のやりがいやおもしろさを現場で研修医や医学生に示すことが重要であることを再認識するとともに、医学生は高学年になるほど専門医にしか会わなくなる現実があるので、ロールモデルとして総合医に会う機会をもっと作る必要がありますとの意見がありました。

この会後は、場所を移して懇親会を行い、さらに会員相互の親交を深めました。

【医療政策課

太田】



## 地域医療支援 コーディネータ養成

NO.4

大学内での座学や実習、地域での実習と、あつという間に1年が過ぎました。地域医療を支えている皆様の熱い思いやご苦労を感じる事ができました。私たちの果たすべき役割を考えるに当たり、貴重な示唆をいただき、たくさんのご指導をいただきました。ありがとうございました。2年目も県内各施設で実習させていただく

予定です。よろしくお願ひいたします。  
【吉岡】



## 医師確保対策室からのお知らせ

組織改正により、医療対策課改め、医療政策課医師確保対策室として新たに船出をしました。

医師である木村医療企画監を先頭に、新たに吉川(よしかわ)室長を迎え、8名体制で、関係機関の皆様としっかりスクラムを組んで鳥根の医師確保に取り組みます。よろしくお願ひします。

### 鳥根県で勤務していただける方を紹介してください

友人・知人等に鳥根県での勤務を希望される医師がおられましたら、是非ご紹介ください。ご紹介いただいた医師へは、医療機関の情報等を提供し、県内での勤務を支援します。

### 医師募集・地域医療ツアー参加者募集

鳥根県は県内で勤務いただける医師を求めています。全国どこへでも専任の医師が出張し、具体的な相談に応じます。また、地域医療の視察ツアーを実施しています。旅費は県が負担します。お気軽にお問い合わせください。

### 「赤ひげバンク」の登録者のみなさんへ

住所等に変更があった場合は、メールでお知らせいただくと助かります。

携帯からの問い合わせはこちら

〒690-8501 松江市殿町1番地 鳥根県医療政策課医師確保対策室

TEL 0852-22-6684 FAX 0852-22-6040

E-Mail [iyou@pref.shimane.lg.jp](mailto:iyou@pref.shimane.lg.jp)

ホームページ:

鳥根の医師確保対策

検索

